

映画『ナディアの誓い - On Her Shoulders』プレス資料

2019年2月1日(金)アップリンク吉祥寺ほか全国順次ロードショー

2018年ノーベル平和賞 国連親善大使 ナディア・ムラドの決意と行動

イラク北部でISISによる虐殺と性奴隷から逃れ、人々の希望となった23歳のナディアに密着した感涙のドキュメンタリー

ノーベル平和賞2018の受賞者、ナディア・ムラドはISIS（イスラム国）による虐殺と性奴隷から逃れた23歳のヤジディ教徒だ。彼女は、普通の女の子のように生きたいと思う時もある。しかし残された同胞のため、国連などの国際的な表舞台で証言を続け、やがては同郷の人々の希望の存在となっていく。

監督: アレクサンドリア・ボンバッハ

配給: ユナイテッドピープル

原題: On Her Shoulders

95分/ドキュメンタリー/2018年/アメリカ



NADIA'S BIOGRAPHY

ナディア・ムラドは2018年のノーベル平和賞受賞者です。また、彼女は当事者として国連初の人身売買の被害者らの尊厳を訴える国連親善大使です。彼女はまた、スペイン国連協会からクリントン・グローバル・シチズン賞、平和賞を受賞し、グラマー・マガジンでは2016年の女性賞を受賞しました。ナディアは2015年以來、国際刑事裁判所に人種差別罪と人道に対する罪を訴え、ISを国際刑事裁判所に提訴するよう取り組んでいます。

サンダンス映画祭2018 監督賞 (USドキュメンタリー)

他7賞を受賞

<http://www.unitedpeople.jp/nadia>

【取材・お問い合わせ】 ユナイテッドピープル pr@unitedpeople.jp 090-8833-6669

映画概要

ノーベル平和賞 2018 の受賞者で 23 歳のナディア・ムラドは 2014 年 8 月までイラク北部の小さく静かな村、コチョ村で母と兄弟姉妹達と幸せに暮らしていた。しかし、ISIS（イスラム国）がやって来て、少数民族ヤジディ教徒の虐殺が始まる。殺されるだけではない。捕まった少女や女性は戦利品として売買や交換の対象となった。ナディア達も捕らえられ、母親と 6 人の兄弟は殺されてしまう。彼女は性奴隷として 3 ヶ月扱われた末、脱出に成功し、ドイツに逃れる。そしてナディアは 2015 年 12 月の国際連合安全保障理事会で、ISIS の虐殺や性暴力についての証言を行い、ヤジディ教徒の希望の存在となる。

少し前までは、どこにでもいるような普通の女の子だったナディアの夢は、自分の村で美容室を開くことだった。普通の生活に戻る日を待ち望みながらも、故郷を奪い、家族も殺した ISIS の虐殺を止め、まだ捕らえられている同胞や、世界中の性暴力被害者のため、彼女は表舞台に立ち続けることを決意する。そして彼女は痛ましい体験を、苦しみながらも繰り返しジャーナリスト、政治家、そして外交官に訴え続けた。カメラは冷静に数々の困難に辛抱強く立ち向かっていくナディアに密着し、ギリシャの難民キャンプや国連本部でのスピーチまでを追っていく。そして、彼女の揺るぎない決意を浮き彫りにしていく。

監督：アレクサンドリア・ボンバツハ

プロデューサー：ヘイリー・パパス、ブロック・ウィリアムス

製作総指揮：ブリン・ムーザー、マット・イッポリト、マリー・テレーズ・ギルジス、
アダム・バーダック、アリソン・グレイマン

共同製作者：エリザベス・シェイファー・ブラウン

作曲：パトリック・ジョンソン 編集：アレクサンドリア・ボンバツハ

追加編集：マイケル・ブカゾ クリエイティブ・コンサルタント：デイヴィッド・ウィル
ソン 編集コンサルタント：ダグラス・ブラッシュ A.C.E.

撮影監督：アレクサンドリア・ボンバツハ

追加撮影監督：カリー・マクソン、サム・クレッチマー

出演：ナディア・ムラド、ムラド・イスマエル、アマル・クルーニー 他

配給：ユナイテッドピープル 原題：On Her Shoulders

95 分／ドキュメンタリー／2018 年／アメリカ

ノーベル平和賞 2018 受賞メッセージ

2018年10月5日

今朝、私はノーベル委員会から2018年のノーベル平和賞の共同受賞者に選ばれたとの知らせを受けました。信じられないこの栄誉に感謝すると共に、この受賞をヤジディ人、イラク人、クルド人、そしてその他、世界中に存在する数限りない性暴力被害者たちと共に受けさせて頂きたいと思っております。

2014年に始まったダーイッシュ（イスラム国）の虐殺を生き延びた生存者の一人として、想像を絶する犯罪に苦しめられて来たヤジディ人に、国際的な注目が集まるこの機会に感謝します。多くのヤジディ人はこの受賞を知り、失われた家族、捕らえられたままの3000人の女性や子供たちのことを連想するでしょう。他の多くの少数民族のように、ヤジディ人は歴史残るほどの迫害を受けています。特に女性たちの被害は甚大で、性的暴力の被害者であり続けています。

私自身はダーイッシュに殺害された母のことを考えています。私を育ててくれた母のためにも、成し遂げなければならないことがあります。少数民族への迫害を止めねばなりません。私たちは、虐殺キャンペーンを失敗に終わらせるだけでなく、生存者のために加害者たちへの裁きを下さねばなりません。

私たちは、虐殺によって荒廃したコミュニティの再建に力を注がなければなりません。生存者たちは、家や他の場所に安全に移動出来るべきです。また、私たちは人道的な活動を支援し、政治や文化的な分断を克服すべきです。そして私たちは、女性たち、子供たち、迫害された少数民族にとってより良い未来を想像するだけでなく、戦争ではなく平和実現のために、一貫して取り組んで行かねばなりません。

共同受賞者で、性暴力被害女性の援助に人生を掲げてきた尊敬するムクウェゲ博士にお祝い申し上げます。

ノーベル委員会にこの栄誉のお礼申し上げます。

ナディア・ムラド

監督メッセージ

政治家、ジャーナリストに外交官。ナディア・ムラドが会議室に入るやいなや空気が張り詰めます。彼らは何を言うべきで、どんな質問を投げかけるべきなのか悩むのです。多くが事前に彼女の経験を知っていると同時に、それがどれほどの体験なのかを深く理解することが出来ないことを知っているのです。これは彼女の犠牲者としての体験を、自分を苦しめながらもメディアを使い証言することで前向きな社会変革を起こそうと行動する信じられないほど強い女性の活動を追った映画です。

この3年間、ナディアの人生は想像を絶するものでした。2014年8月3日、ISISは北イラクのヤジディ人の虐殺を開始しました。5千人もの人々が数週間のうちに殺害されたとされ、7千人以上の女性や子供たちが捕まり、性奴隷や子供兵にされました。ナディアも、母親と6人の兄弟が殺された日に捕らえられました。彼女の家族の実に18人が殺されるか、捕らえられました。

何度も証言を繰り返し話す間に、だんだんと慣れていくように思うかもしれませんが、ナディアの眼にはいつも重くて辛い体験が見られました。全ての会議の後、カメラは彼女の沈んだ心が元に戻っていく様子を撮影しました。

私は2016年の夏中、ナディアと彼女の最も近い支援者を追いかけました。ギリシャの難民キャンプ、ベルリンでの虐殺2周年デモ、オタワ州下院、そしてニューヨークの国連本部へと移動するナディアは、行動し続けていました。成功へのロードマップが存在しない中行動する彼女が、疲れ果てる表情を見せたこともあります。メディアから「ヤジディ人に何が必要ですか？」と聞かれるよりも「どのようにレイプされたのですか？」という人を矢で射るような質問が数多く飛んで来たのが理由です。

虐殺からの生存者の声は重く受け止められました。ナディア自身、彼女の言葉が人々の行動を促す力があることを理解しています。私の希望は、ナディアの人生に迫ることで、苦しんでいる声なき人々に焦点をあて、世界の行動を駆り立てることです。

アレクサンドリア・ボンバッハ